

がまき 議会だより

第118号

令和3年11月1日号



二ツ池の水面鏡

TOPICS

令和2年度決算報告	2~5
全員協議会報告	5
8月第2回臨時会	6
9月定例議会	7~8
議決結果	9
一般質問	10~15
議会報告会・議会日誌	16

令和2年度会計決算
全て認定されました!

決算特別委員会報告

9月3日の本会議で設置された決算特別委員会(委員長・服部公英)は、委員長のほか委員5名(上村・あずま・牧浦・康村・石丸)で、9月9日・10日・13日の3日間開催されました。委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計決算について慎重審議の結果、全委員異議無く原案の通り認定すべきものと決しました。

なお、これら7議案は、9月21日の本会議でも全会一致で可決しました。



令和2年度各会計別決算額

		歳入	歳出	翌年度へ繰越す財源	実質収支	
一般会計		111億4,663万円	109億2,100万円	955万円	2億1,608万円	
特別会計	国民健康保険	23億7,577万円	23億3,698万円		3,879万円	
	後期高齢者医療	4億4万円	3億9,718万円		286万円	
	住宅新築資金等貸付事業	183万円	153万円		30万円	
	下水道事業	6億6,504万円	6億4,710万円		1,794万円	
	介護保険	保険事業勘定	21億1,045万円	20億3,537万円		7,508万円
		介護サービス事業勘定	648万円	616万円		32万円

		収入	支出	純利益(収入-支出)	資金不足(支出-収入)
水道事業会計	収益的収入支出 (税抜き)	4億6,522万円	4億303万円	6,219万円	
	資本的収入支出 (税込み)	446万円	7,493万円		7,047万円

一般会計

令和2年度は当初予算約76億円、補正予算が11回編成され、決算総額は100億円を超えた。増額の要因は、新型コロナウイルス対応の事業である。

コロナ感染症対応の主な事業

- ・特別定額給付金給付事業……………約22億3,000万円
- ・クーポン券発行事業……………約2億3,000万円
- ・避難所感染防止対策事業……………約4,000万円
- ・小規模事業者等継続支援事業…約1,900万円
- ・小中学校学習保障強化事業……約1,400万円

町民税について

- 問 町民税の調定額が前年に比べ、2,000万円の減となった要因は。
- 答 法人税割が9.7%から6%に引き下げられたのが主な内容である。

住宅・駐車場使用料の不能欠損について

- 問 住宅使用料、駐車場使用料の合計で、約1,600万円の不能欠損について説明を。
- 答 上牧町債権管理条例に基づき、債権放棄をおこなった。

不動産売払収入について

- 問 不動産売払収入、2,550万円の説明を。
- 答 旧焼却場に隣接する土地を売却した。そのうちの旧土地開発公社用地分、約1,300万円を第三セクター等改革推進債償還基金に積み立てた。



旧焼却場に隣接する土地

職員の時間外勤務について

- 問 職員の時間外手当がかなり増えているが、課によって偏りがあるのか。
- 答 コロナウイルスの感染予防や予防接種の対応、景気対策としてのクーポン券発送で時間外勤務が増えた。担当課で偏りが見られたので、今後は部局横断的に対応する。

コミュニティバス運行事業について

- 問 令和2年4月からバスを1台増便し、きめ細かな運行となったが利用状況はどうであったか。
- 答 コロナ感染症対策として、間仕切りの設置など行い運行したが、外出自粛により利用者は年間で6,000人減少した。

高齢者自転車用ヘルメット購入費助成について

- 問 議員から提案された新規事業であるが、利用状況は。
- 答 100人分の予算であったが、65歳以上の38名に3,000円を上限として、ヘルメットの購入費の半分を助成した。

クーポン券発行事業について

- 問 発行数22,184冊、換金総額2億1,645万円で、差額が約538万円出ているが啓発方法に問題があったのでは。
- 答 広報や町ホームページでのお知らせと、154の参加店舗にのぼり旗やポスターによる啓発をしていただいた。利用締切の1週間前には、町内放送で案内した。



小中学校学習保障強化事業について

- 問 事業費約1,400万円、小中学生1人1万円分を上限に、教材が配布されたが、効果はどうであったか。
- 答 1,479人の申込みがあり、家庭学習に活用していただいた。辞退者は30名あった。

障害福祉費について

- 問 約2,600万円の不用額が出たが、コロナの影響はどうであったか。
- 答 自立支援給付費・障害児施設給付費、移動支援などで減となった。

コロナ検査センター共同運営事業について

- 問 香芝市・葛城市・北葛城郡で運営するコロナ検査センターの今後の取り組みは。
- 答 令和2年11月から2市4町共同で運営してきたが、市や町の発熱外来医療機関が増えたため、令和3年9月30日で終了する。

新生児聴覚検査助成事業について

- 問 新生児聴覚検査受診料22万4,360円の内容説明を。
- 答 新生児が産婦人科で、聴覚の任意検査と確認検査を受ける場合、各検査1人上限3,000円助成する。75人が検査を受け、確認検査で1名に異常が見つかり大病院の検査を受けられた。

健康増進事業について

- 問 健康増進事業費で約340万円不用となったがコロナの影響はどうか。
- 答 がん検診を含む各種健診の受診者が減少した。



産後ケア事業委託料について

- 問 令和2年度は、ショートステイ1泊4名、デイサービス1日2名の利用があったがその後の利用はどうか。
- 答 ショートステイは1人最大6回利用でき、デイサービスは最大7日利用できるので、引き続きこの制度を利用されている方もいる。

史跡上牧久渡古墳群整備事業について

- 問 史跡上牧久渡古墳群整備事業が予定どおりに進まなかったのは、事務に関する知識が足りなかったのではないか。
- 答 都市計画法29条の開発行為許可申請が漏れていたため、事業が遅れ、重く受け止めている。今後は、担当が一丸となって取り組んでいく。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税について

- 問 保険税の徴収率は、令和元年度決算に比べ改善している。現年度分95.95%、滞納繰越分34.72%となった要因は。
- 答 徴収課では、電話や郵便による督促・納付相談をおこなっているが、令和2年度は、特に個別訪問に力を入れた。

予算の充用と流用に関して

- 問 特定健康診査事業において、予備費からの充用と、延滞料が発生したことによる流用がおこなわれているが、本来はあってはならない内容である。
- 答 健診のお詫び訂正文の発送に予備費を充用した。また、事務のミスによる延滞金支払のために節間での流用をおこなった。今後はこのようなことのないよう、複数で点検し、二次点検をする。

人間ドック等助成事業について

- 問 人間ドック等助成金約1,600万円の説明を。
- 答 1人4万円を助成し455名が受診された。令和5年度まで行う予定。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料について

- 問 保険料の過年度分は、47.68%の収納率となったが収納対策はどうか。
- 答 国民健康保険と同様の取り組みで、個別訪問に力を入れた。

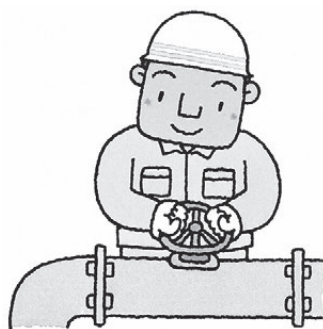
下水道事業特別会計

下水道長寿命化計画について

- 問 平成27年度の下水道長寿命化計画による事業は、片岡台2丁目が完了だが今後の計画の説明を。
- 答 平成30年度からは、下水道ストックマネジメント基本計画による調査と工事をおこなっている。

マンホールの修繕計画について

- 問 修繕の現状と、修繕を要望する声への対応は。
- 答 年間計画を立て、45年を経た老朽化したところから交換している。補修が必要と通報があった際は、確認し対応している。



介護保険事業特別会計

一般介護予防事業費について

- 問 地域体操教室委託料は、教室数が増えているのに前年度より減であるが要因は。
- 答 5年をめどに自主運営をお願いしている。今後、新たな地域で教室を開設したい。

配食見守り支援事業について

- 問 配食見守り支援事業委託料、約146万円の説明を。
- 答 令和2年度から2業者に配食と見守りを委託した。利用人数は23名、延配達弁当は3,103食である。自己負担は所得に応じ、200円と300円で、週3回まで利用できる。

水道事業会計

有収率について

- 問 令和2年度の有収率93.9%は、高い数値であるが要因は。
- 答 10月に発生した大きな漏水事故の修繕が終わったためと思われる。

以上採決の結果、
全委員異議無く認定するものと決しました。

全員協議会報告・・・速報

10月11日に全員協議会が開かれました。地方創生臨時交付金1,240万円を活用し、以下の新型コロナウイルス感染拡大防止事業が「専決処分」で行われます。

- 接客事業所感染防止対策支援事業
町内に店舗を所有し、接客業を営む事業所(250件)に対して4万円を交付。受付は11月15日開始。(詳しくは、まちづくり推進課まで)
- 学校園、保育所感染防止対策事業
(二酸化炭素濃度計測器の導入)
学校園、保育所の教室や職員室の換気状態を確認するために、二酸化炭素濃度計測器を購入する。
1個7,150円で225個分、配備時期は未定。

第2回臨時会(8/2)

法律改正による条数の変更に伴う改正

上牧町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

上牧町手数料徴収条例の一部改正

法律改正に基づき、条例から個人番号カードの再交付規定を削除する改正

問 予算に対する影響と反映方法は。

答 手数料の変更はないが、国の補助金が委託料にかわるため総額は若干変更があり次年度に精算する。

令和3年度一般会計補正予算(第4回)

◎新型コロナウイルスワクチン集団接種の期間延長(11月末まで)やワクチン供給不足による架電対応等の増加に伴う事業増額補正について

問 国からのワクチン供給不透明によるものだと思うが影響は。

答 国から割り当てられるワクチン供給量は限られているが、接種時間の調整等に対応していきたい。

問 ワクチン接種に対する意向調査のアンケートがあったが内容の説明を。

答 7月27日現在で回答率51.5%。11,706通送付し6,027通の回答があった。うち上牧町での接種希望者は4,505名、接種を希望しない方が159名。町外接種又は接種済の方が1,363名だった。

問 集団接種会場において、体調不良者やアナフィラキシーショックになった方はいるか。

答 強いアナフィラキシーショック症状となった方、救急搬送された方はいなかった(8/2現在)。



◎服部台地区で冠水陥没事象が発生したことによる対策に伴う業務委託料について

問 排水構造物の設計図や記録はあるのか。

答 まだ調査中だがおそらく行政側が入れたものではないので記録はないと思う。

問 家屋の補償は。

答 補償はしなければならないと考えている。今回の委託業務を受けて検討したい。

滝川遊歩道整備工事(その3) 請負契約の締結

【契約の概要】

◎工期 議決の日より令和4年3月25日

◎入札の方法 総合評価落札方式

◎契約相手方 株式会社上村組

代表取締役 上村 智津子

◎契約金額 1億2,095万6,000円(税込)

問 当初予算では公園整備も一体となった予算計上をしていたが、今回分けて契約している理由は。

答 工種が変更となったためである。当初は経費削減もあり一括で計上していたが、公園遊具のこともあり分けて発注となった。議会への説明が足らなかったのも事実なので今後は当初予算の時からしっかり説明をしていきたい。

問 自転車道と2000年会館から下りてくる道との交差点の安全対策は。

答 事故が起こらないような対策を考え対応していきたい。

服部明星線道路整備工事請負契約の締結

【契約の概要】

◎工期 議決の日より令和4年3月25日

◎入札の方法 総合評価落札方式

◎契約相手方 株式会社上村組

代表取締役 上村 智津子

◎契約金額 9,784万3,900円(税込)



【トピックス】

議会の議決が必要な契約とは?

上牧町では、条例により、以下の請負契約については議会の議決に付さなければならないと規定されています。

◎議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)

第96条第1項第5号の規定により

議会の議決に付さなければならない

契約は、予定価格50,000,000円以上

の工事又は製造の請負とする。

以上採決の結果、全議員異議無く可決しました。

総務建設常任委員会報告

上牧町附属機関設置条例の一部改正

問 この条例の一部改正は、予防接種被害調査委員会を設置する条例だが、新型コロナワクチン接種後、体調不良を訴える事例は起こっているのか。

答 実例として体調不良の申告があった。町では判断できないため町医の先生に相談した結果、新型コロナワクチン接種以前から同様の体調不良があり、ワクチン接種が原因でないことが判明したという実例があった。

問 実際に新型コロナワクチン接種後に体調が優れなくなった場合、どのように予防接種被害調査委員会が機能するのか。

答 申請書を用意しており、記入後窓口に提出いただき、予防接種被害調査委員会を開き内容を吟味し、複雑な気管支系疾患や脳血管系は、専門医を県に推薦してもらい調査を行う。また、申請書だけでは判断できない場合は検査や主治医の協力も得て予防接種被害調査委員会が判断することになる。その結果を県に報告書を提出し、そこから国の疾病障害認定審査会にかけられ判断が下されることになる。

上牧町税条例の一部改正

問 今回の税条例の改正について説明を。

答 扶養控除における国外居住親族の取り扱いの見直しが行われ、個人住民税均等割及び所得割の非課税限度額の算定基礎となる扶養親族から、30歳以上70歳未満の国外居住者で
①留学により国内に住所及び居所を有しなくなった者
②障害者
③納税義務者から前年度に生活費又は教育費に充てるための支払いを38万円以上受けている者以外の者は、個人住民税均等割及び所得割の非課税限度額の算定基礎となる扶養親族および控除対象扶養親族から除外することに改正された。

令和3年度一般会計補正予算(第5回)

ペガサスフェスタ委託料について

問 ペガサスフェスタ開催中止は、どこで決定されたのか、代替え案はなかったのか。

答 コロナ対策会議で決定された。代替え案とまではいえないが、11月2日、3日にペガサスホールに於い

て、町内幼稚園・保育園の園児たちの演技を録画配信する予定である。



— 昨年のペガサスフェスタの様子

文化センター空調機器更新工事について

問 文化センターの空調機器更新工事が行われるが、ウイルス対策等の機能はあるのか。

答 ウイルス対策機能が付いているものは予算よりコストが高つくため、対策機能がついていないものとした。換気等充分留意をして今後もウイルス対策を行っていく。

以上採決の結果、全委員異議無く可決するものと決しました。

委員会に付託しなかった議案

上牧新橋補修・耐震工事(2工区)の請負契約の締結

【契約の概要】

- ◎工期 議決の日より令和4年3月25日
- ◎入札の方法 総合評価落札方式
- ◎契約相手方 株式会社上香建設
代表取締役 上村 貴也
- ◎契約金額 5,464万2,500円(税込)

上牧町水道事業配水池耐震化工事請負契約の締結

【契約の概要】

- ◎工期 議決の日より令和4年3月31日
- ◎入札の方法 総合評価落札方式
- ◎契約相手方 村本建設株式会社 奈良本店
常務執行役員本店長 高田 幸伸
- ◎契約金額 6,985万円(税込)

人権擁護委員候補者の推薦について

高橋道代さん(桜ヶ丘) 再任

以上採決の結果、全議員異議無く可決しました。

文教厚生常任委員会報告



令和3年度介護保険特別会計補正予算(第2回)

- 問 高額医療合算介護サービスの負担金及び交付金額増額の説明を。
- 答 申請170件、総額590万円程となるため100万円の増額補正を予定した。
- 問 償還金利子及び、割引料の過納付金額150万円の説明を。
- 答 介護保険利用者の死亡により区分が途中変更された場合に発生するが、予算案額に近づいているので予算計上した。

令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第2回)

- 問 一般会計繰り上げ金1927万5000円減額の説明を。
- 答 前年度繰越金1793万5000円と下水道事業債の見直しにより償還金利子及び割引料134万円の減額によるものである。

山辺・県北西部広域環境衛生組合規約の一部変更

- 問 関係市町村議員の任期は年度初めからの一年間であるが、この時期に改正する説明を。
- 答 改正時期の年度初めは、議員選出のための空白時期が考えられることや、施設稼働に向けての臨時議会の開始の予想がされるためである。

上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 問 電磁的な記録による規定改正の具体的な内容は。
- 答 紙ベース配布をメール配信に変更し、プリントアウトが可能になる。また、町のホームページにも記載する。
- 問 保育園の保護者に対する影響は。
- 答 携帯電話のメールやラインで情報共有が可能になり、連絡がスムーズにできるようになる。

上牧町家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 問 町内の家庭的保育事業等の内容は。
- 答 デジタル化に伴い、業務負担の軽減を図るため書類等の保存や保護者間との手続きについて、電磁的な対応を可能にするため包括的な規定を追加するものである。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

上牧町あらゆる差別の解消の推進に関する条例(案)

この条例は、町及び町民の責務を明らかにし、人権意識の高揚と差別のない平和で明るい地域社会の実現に寄与することを目的として、提案者服部議員、賛成者牧浦・上村両議員により議員提案で上程され、文教厚生委員会に付託され審議がされました。

文教厚生委員会では、遠山委員より、今回の条例制定により上牧町人権擁護に関する条例(以下「人権擁護条例」)を廃止することについて質疑があり、提案者より、人権擁護条例と基本的な考えは同じであり、今回の条例はその発展型として提案しているとの答弁がありました。

また石丸委員より、一つの差別に特化しているイメージがあるが、その他の差別についてはどう考えるかとの質疑があり、提案者より、部落差別の他に、外国人、性、障がい者等の差別があるが様々な差別の整備をする目的であるとの答弁がありました。

質疑の後、石丸委員より「あらゆる差別の解消には様々なものが考えられるが、内容は部落差別に特化している。目的、基本理念、実態調査などが同和問題に限定されており、内容についても住民に説明し難い」との反対討論がありましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

また、最終日の本会議において、木内議員より、提案者の差別に対する考え方等の質疑があり、続いて石丸議員、木内議員からの反対討論がありました。また、賛成者の牧浦議員より「あらゆる差別の解消を大きな柱とし上牧町人権擁護に関する条例を継承し、より具体的に構成されている。既存の条例では差別についての詳細な部分が示されていないため、改正により町民の人権尊重の理解を深められる」という主旨の賛成討論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

令和3年 第2回臨時会の議決結果

(令和3年8月2日)

○賛成 ●反対 ー除斥 ×棄権 空白は欠席

議 案 名	議決結果	遠山健太郎	東初子	上村哲也	牧浦秀俊	竹之内剛	服部公英	富木つや子	康村昌史	木内利雄	石丸典子	東充洋	吉中隆昭
上牧町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません
上牧町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町一般会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
滝川遊歩道整備工事(その3)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
服部台明星線道路整備工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和3年9月 定例会の議決結果

(令和3年9月3日~9月21日)

○賛成 ●反対 ー除斥 ×棄権 空白は欠席

議 案 名	議決結果	遠山健太郎	東初子	上村哲也	牧浦秀俊	竹之内剛	服部公英	富木つや子	康村昌史	木内利雄	石丸典子	東充洋	吉中隆昭
令和2年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません
令和2年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度王寺周辺広域市町村圏協議会会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山辺・県北西部広域環境衛生組合規約の一部を変更する規約について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町一般会計補正予算(第5回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町あらゆる差別の解消の推進に関する条例(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧新橋橋梁補修・耐震工事(2工区)の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町水道事業配水池耐震化工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会日よりでは、一般質問原稿について、それぞれ質問をした各議員自らが要約し、編集したものをそのまま掲載しています。そのため記事により一部表現が異なる場合がありますがご了承ください。

遠山 健太郎	上牧町まちづくり基本条例について
牧浦 秀俊	1. 通学通園路の安全総点検と見守りボランティアについて 2. 公務員「心の健康」調査について 3. 新型コロナウイルス感染者が出た時の対応は
上村 哲也	新型コロナウイルス感染症対策に伴う12歳未満の子供達に対する町の考え方について
あずま初子	1. コロナ禍の図書館の利用状況について 2. 災害時の停電による電力不足の備えについて
石丸 典子	1. 新型コロナウイルス対策について 2. ヤングケアラーへの支援について 3. 学校適正化について
服部 公英	1. 新型コロナウイルス感染について 2. 西名阪側道について 3. コミュニティバスの停留所について 4. 財政運営について 5. 資源ごみについて
康村 昌史	1. 町内の有害鳥獣被害について 2. 巡回バスの運行について 3. 町内のグランド整備について
富木つや子	1. 子どもを守るための取り組みについて 2. コロナ禍における必要な支援と対応について
竹之内 剛	町営公共施設の安全で安心な利用に向けた整備について
木内 利雄	1. 新型コロナウイルス 学校等での感染拡大防止対策について 2. 全国学力テストの結果について 3. 学校の安全性を高めるSPSの認証について
ひがし充洋	1. 町内住宅地へのごみの投棄について 2. 国民健康保険税の減免措置について 3. GIGAスクールの状況について 4. 新型コロナウイルス感染対策について

議員は町民全体の奉仕者であるべき



遠山 健太郎

特定の地域団体への利益誘導はダメ

問 上牧町まちづくり基本条例の逐条解説に「議員は、特定の地域や団体などの代表者ではなく」とあり、また上牧町政治倫理条例第3条には「議員は、町民全体の奉仕者として」と規定されていますが、現実はなり手不足等の観点から自治会役員との兼務を余儀なくされている議員もおられます。この点について見解を今中町長にうかがいます。

答 「議員は町民全体の奉仕者」という立場で考えた時に、特定の地域や団体の要望や質問を繰り返されることその地域や団体への利益誘導にならないか、という点が一番の問題と考える。他方そのような行為が、他の地域団体の利益を阻害しているのではということも大きな問題と考える。それを考えると、自治会の役員はされない方が良いのではないかと思う。ただ、なり手不足の現状を考えると、議会において政治倫理条例の中で努力義務を設ける等、しっかり明記し住民の方々へ「お示していく」ことが大事だと考える。



問 県では、各市町村に通学通園路の対策が必要な個所の把握の依頼があったが。

答 本町における通学路の安全に係る対策については一定進んでいる。しかしこの度の千葉県における事故を受けて、従来の場所に加え、「見通しが良く車の速度が上がりやすい道路」「大型車の侵入が多い箇所」「保護者や地域の方々から改善要請があった場所」新たに加えられた観点に基づく点検を実施予定である。

問 各自治会より、老人会による見守りボランティアの減少が、病気や死亡で減少が著しいのだが、町による関与は。

答 学校・地域パートナーシップ事業としても、見守りボランティアについては、活動日数がほぼ毎日となることから、当該ボランティア確保が難しい現状となっている。そのことから各地域における子供たちの見守り活動は大半、高齢者や定年退職をされた世代の方々の尽力に依存している状況であると認識をしており、「上牧町の子どもは町全体で見守る」という意味でも、高齢者や定年退職者だけでなく、工夫しながら見守りを考えていきたい。

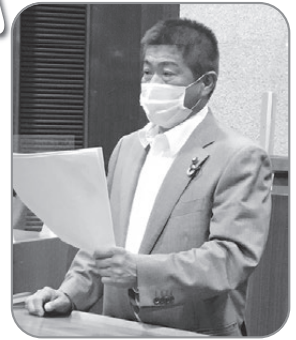
通学安全点検と見守りボランティアについて



牧浦 秀俊

老人会の見守りの減少が懸念される

ワクチン接種できない子ども達を守るために!!



上村 哲也

本町の教育施設への対応は

問 2学期の始まりにあたりコロナウイルス対策に伴う12歳未満の子ども達に対する町の考え方について。

答 今まで以上に基本的予防を重視し、より丁寧に確実にを行うことを実行していく。

問 県内の市・町の教育施設でも施されたような「抗菌・抗ウイルス加工」等を用いてクラスター対策等の追加事業を検討されているか。

答 より安全で効果的な手法がないか、先進地事例の情報収集に努めます。

問 上牧町住民の若い世代の子供達をもつ、ご家族の方々の不安を少しでも軽減でき、子ども達を安心して登校・登園できるよう教育長より強いメッセージを。

答 本町におきましても今までと同様、丁寧なアプローチが必要だと考えており、コロナ対策はまだまだ不透明な点が多く、油断はできません。気を緩めることなく学校・園が出来ることを最大限に取り組んでまいります。

校長及び園長先生にも常にお伝えしており、これからも続けてまいります。また、メール配信学年だより・ホームページ等を活用させていただきながら、子どもの安全・安心をモットーに地に足をつけて取り組んでまいりたいと考えております。

災害時における避難所の電源確保について



あずま初子

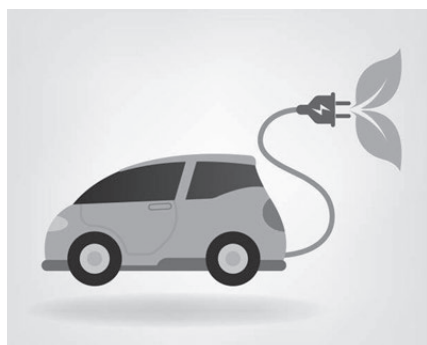
災害に備えて
万全の態勢を！

問 災害で大規模な停電が発生し電力不足が生じた場合に、避難所の電源を確保するため、非常用電源として自動車会社が所有する燃料電池自動車やハイブリッド車など、電気の供給ができる車両を町に貸し出してもらうよう、自動車販売会社と協定を結ぶお考えはありますか。

答 災害時の避難所の電源確保のため、民間の力を借りることは有効な対策の一つであると考えます。今後、先進自治体の事例などを調査研究し、速やかに協定締結に向け考えます。

問 環境にも優しく万が一の災害時の電力供給源としても活用出来るよう、公用車を電気自動車に順次切り替えるお考えはありますか。

答 今後の更新計画の中で調査研究しながら検討していく。



問 現在の小学校3校、中学校2校について「単学級」(1学年1クラス)を回避するため、学校適正化に向けた協議が行われている。

7月に町民の意識調査があったが、十分な説明と町民の意見反映が大切である。

答 住民意識調査は、児童生徒がいる世帯と未就学児がいる世帯1,400世帯、無作為に抽出した800世帯の合計2,200世帯に郵送し、回収率は40.7%であった。調査結果は、町広報やホームページで公表し、報告書は中央公民館等に備え付ける。

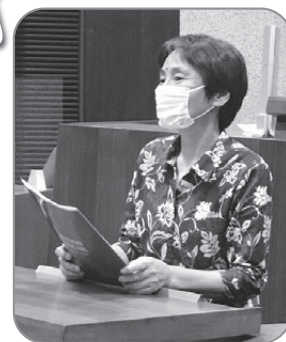
問 調査結果では、小学校の統廃合が必要72.4%、中学校の統廃合が必要61.1%となったが、「校区を変更すれば良いのでは」「十分な資料での説明会を」などの声がある。

今年度に協議会の答申が出される予定になっているが、地域の学校がどうなるかは全町民の問題でもある。コロナ禍でも工夫して、説明会や意見交換などができる取り組みを考えてほしい。

答 考えたい。

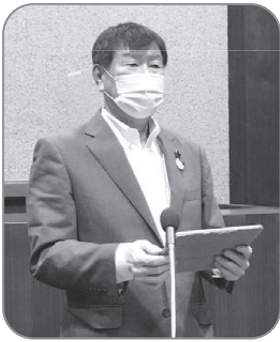
住民への説明と意見反映を

学校適正化について



石丸 典子

資源ごみについて



服部 公英

ルール守って出すと
資源になる

問 資源ごみ(出して頂いた資源物)の各ごみ別の回収量はどのくらいになりますか。

答 令和2年度において、資源ごみの回収量は空き缶31,600kg、空きビンが124,430kg、ペットボトルは32,290kg、白色トレイが4,870kgです。

問 各ごみ別の収入額はいくらになりますか。

答 空き缶については、1,169,370円でした。また、ペットボトルの有償入札拠出金は、1,281,721円、白色トレイの再商品化合理化拠出金が222円でした。

問 町で焼却していた時と現在の中継施設を利用して、ごみの持ち出し処分をしている費用を比較すると金銭的メリットとデメリットについては。

答 一般廃棄物処理基本計画に示しているとおり焼却業務を停止する直前3か年(平成25年～27年度)の平均経常経費が2億6,276万5,987円に対して、直近3か年(平成30年～令和2年度)の平均経常経費は4億1,030万4,251円でした。ただし、この計算においては、単に経常経費の比較であり、修繕費や改修費、さらには建設費が含まれてなく、現在では、将来を見据えた比較ができず、今回の結果についても考えるところがあります。

問 令和2年4月に改正された巡回バスの時刻表と運行経路の決定方法は。

答 平成29年11月にコミュニティバス運営に関する住民アンケート調査を実施し、庁内検討会で決定した。

問 イオンが閉店したため片岡台地区の高齢者はラスパへ買物に行かざるを得なくなった。(参考 現在の上牧町の65歳以上の高齢化率34.15%、80歳以上の高齢化率10.66%)

片岡台地区へ帰るには、ささゆり号第6便ラスパ前15:56発が最終便であり、第7便(16時台)にラスパ前から片岡台地区へ帰るバスが無いので非常に不便である。

現在の巡回バスの時刻表等は、イオンが閉店する前に作られたものである。

イオンが閉店することは想定外であり、服部台濁・明星線の令和4年度開通予定に合わせて巡回バスの時刻表等の見直しを強く願います。

答 今後の検討課題である。

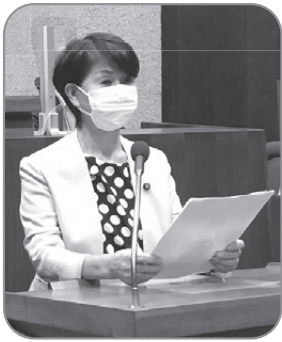
巡回バスの時刻表と経路の見直しを



片岡台地区の高齢者が
買物困難に

康村 昌史

コロナ禍のなか誰一人
取り残さないために



富木 つや子

孤立を防ぐために
必要な支援を

問 新型コロナウイルス感染による自宅療養患者や濃厚接触者は自宅待機となり、外出ができないため、買い物にも行けない状況です。また、誰にも頼めない方もいらっしゃると思います。この様な方の孤立を防ぐためには、相談体制や生活支援の取り組みが必要です。8月には、厚生労働省から感染症法による都道府県と市町村が連携し、自宅療養者等に対する生活支援を行うお願いの周知がされました。新型コロナウイルス感染による自宅療養患者や濃厚接触者の自宅待機者への生活支援について、本町のお考えをお伺いします。

答 本町としても、自宅療養患者や濃厚接触者の自宅待機者への支援として、相談体制、生活支援、パルスオキシメーターの貸与等の実施に向け、準備を進めてまいります。

問 本町の生活支援の内容と支援を受けるための仕組みは。

答 相談体制は、保健師が電話で対応する。生活支援の内容は、買い物代行、くすりの受け取り代行やレトルト食品、缶詰、カップ麺等の配付を考えている。支援の流れとして、保健所へ本町の生活支援を情報提供した後、自宅待機者からの問い合わせに応える仕組みである。

問 第一・二体育館について、高齢者・障がい者が安全で利用しやすい施設への整備状況は。

答 第一体育館は、多目的トイレ、スロープ。障がい者用の駐車場と駐車場の案内看板を整備した。第二体育館は、多目的室、思いやり駐車場を整備した。

問 第二体育館の西側駐車場は未整備区画と樹木で駐車スペースが狭いことで車の自損事故が発生したと聞いたが、1.これらの危険個所の整備は可能か。2.二つの体育館駐車場のピクトグラム表示は相違があり利用者が分かりにくいので統一は可能か。3.第二体育館の駐輪場付近は狭く段差があり、通行者にとって危険である。駐輪場付近の広さの確保と新たな出入口整備、段差解消は可能か。

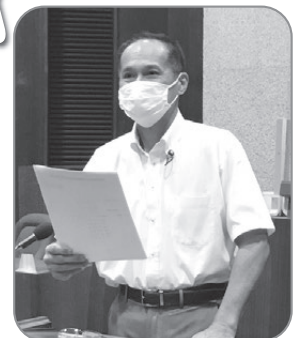
答 1. 盛り上がった未整備区画と樹木の整備は対応可能な方法で整備していきたい。2. 案内表示は検討する。3. 駐輪場の段差は解消する方向で検討する。また通行スペースの確保、出入り口については、利用状況を見て検討する。



第二体育館ピクトグラム表示

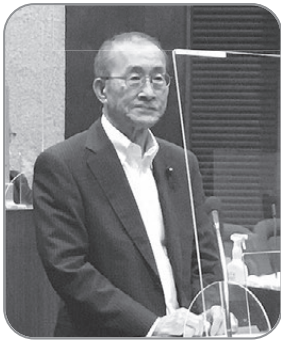
町営体育館の
安全利用に向けた整備

高齢者・障がい者に
優しく利用しやすい
施設整備



竹之内 剛

学校の安全を高める SPS認証取得を



木内 利雄

校内児童殺傷事件を
教訓に創設

問 セーフティプロモーションスクール(SPS)の
認証取得について伺う。

SPSは教職員や児童生徒、保護者らが協力して
学校安全に取り組む条件がそろった学校に与えら
れるもので、2001年6月におきた大阪教育大付
属池田小学校の校内児童殺傷事件を教訓に同大学
が創設した制度であり、認証校は全国に広がっ
ている。

2018年6月の大阪北部地震でブロック塀が倒
壊して小学4年生の女兒(当時9歳)が死亡した大
阪府高槻市立寿永小学校が、事故の風化を防ごう
と今年2021年3月にSPSの認証を取得したとこ
ろである。

大阪教育大学校安全推進センター長の藤田大
輔・安全教育学教授は「認証校を全国に広げ、日本
独自の学校安全を発展させたい」と語っている。

現在、奈良県内で認証取得校は一校もない。そ
こで、認証取得について、町当局の見解を伺う。

答 同制度は子どもたちの安全を高めるには有益
なものである。そこで、既にSPSの認証を取
得している学校の取り組み方、その後の影響等の
調査、研究を行い、認証取得を目標としたい。

問 町内の二人の宅地所有者から家電や廃材等不法
に投棄されているとの相談があり、現場を視察し
てまいりました。まさしく住環境を破壊する状況です。

『廃棄物処理法』でゴミの処理方法が定められ、
罰則も課せられます。しかし、法の定めで他人が不
法投棄したゴミであっても自費で処理しなければ
ならないという不合理な状況で、相談者の方の一人
は大金を処理業者に支払って処理されました。まさ
しく財産権が脅かされるという状況です。上牧町の
住民の財産や健康を守るための施策や対策につい
て質問します。

答 現在、町有地についてはフェンスを設置し、担
当課が巡回パトロールの強化に努めています。
民有地等についてもパトロールの強化を図ってまい
りますが、自治連合会にも相談し、不法投棄等への
住民のみなさんの情報提供をお願いしてまいりま
す。広報でもお知らせしてまいります。



町内住宅地へのごみの 不法投棄について



清潔で美しい
町づくり対策を求める

ひがし 充洋

第11回議会報告 みなさんと語り合う座談会

昨年に引き続き、
「YouTubeでの動画配信」
で開催します。

◆動画配信予定日時

令和3年11月26日(金) 午前10時～

※都合により配信日時が変更となる場合があります。
変更となる場合はホームページでお知らせします。



◆事前質問の受付について

町民の皆さんからのご質問・ご意見をお伺いします!

議会だよりに折り込みしている質問用紙をご利用ください。

- ・ご質問受付箱(役場1階ロビー、片岡台出張所、2000年会館)
- ・FAX 0745-76-1003 ・メール gikai@town.kanmaki.lg.jp
- ・町議会議員 でも受け付けております!

※締切: 11月10日(水) 必着

議会・委員会のYoutube配信について

議会は公開が原則です。

議会の傍聴は、町民を代表する議員が、公の立場で町の仕事について審議や評決を行う様子を実際に見聞きすることができ、住民の意思がいかに反映されているかを知るうえで、大変有意義なことです。

上牧町では、議場や委員会室に傍聴に行けなくとも、ホームページ上のYoutubeで、議会のライブ中継、そして録画中継で、審議の内容を確認することができます。

上牧町議会は町民の皆様身近に開かれた議会を目指します。

←上牧町ホームページです。



上牧町議会 YouTube
インターネット中継



右側にあるこちらを
クリックしてください。

議会日誌

7月

- 2日 広報委員会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 広報委員会
- 9日 差別をなくす強調月間
上牧集会
- 16日 議員懇談会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 上牧町総合計画等
審議会



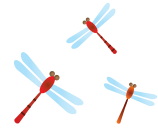
8月

- 2日 第2回臨時会
- 23日 葛城地区清掃組合議会
- 27日 奈良県町村議会議長会
正副議長研修会

9月

- 1日 議会運営委員会・議員懇談会
- 3日 第3回定例会(初日)・広報委員会

- 6日 総務建設委員会
- 7日 文教厚生委員会
- 9日 決算特別委員会
- 10日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 16日 一般質問(6名)
- 17日 一般質問(5名)
- 21日 第3回定例会(最終日)
議員懇談会
- 27日 上牧町シルバー人材センター理事会



次回の定例会は 12月3日開催予定

- ・第4回上牧町議会定例会
令和3年12月3日(金)
午前10時から
- ・議会運営委員会
令和3年12月1日(水)
午前10時から

編集後記

お問い合わせ ☎ 0745-76-1001
fax 0745-76-1003

▼新型コロナウイルス感染症の第5波がピークアウトし、9月末には大都市等の緊急事態宣言が解除となりました▼第5波では重症患者が減少し、高齢者への新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の効果が実証されました▼私達上牧町議会議員は、Withコロナにおけるより良いまちづくりに努めます。

- 広報委員会
- 委員長 竹之内 剛
 - 副委員長 あずま初子
 - 委員 遠山健太郎
 - 委員 上村 哲也
 - 委員 牧浦 秀俊
 - 委員 康村 昌史
 - 委員 石丸 典子